東京大学情報基盤センター

トライアルユース利用成果報告書

提出日：　　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 研究題目（申込課題名） |  |
| フリガナ氏　　名（※1） |  | 利用者番号(プロジェクトコード) |  |
| 所　　属（※2） |  | 職名 |  |
| 利用計算機システム |  |
| 申込区分 | 1．無償トライアルユース | 2．有償トライアルユース |
| コース | 1．パーソナルコース（※3 1口 ・ 2口 ・ 3口） | 2．グループコース | 3．グループコース（企業利用） |
| 利用期間 | 　　　　年　　　　月　　～　　　　　　年　　　　月 |
| 成果公開（※4） | ◆グループコース（企業利用）のみ1. 即時公開　　　　　　2. 公開延期（成果公開予定： 　　年　　月） |
| 公開延期の理由 | ◆上記（成果公開）で「2.公開延期」を選択された場合はその理由をご記入願います。 |

本報告書は、利用状況調査等に活用し、センター広報・Web ページには利用件数を公開いたします（グループコース（企業利用）を除く）。

※1　グループコースの場合は、利用申込書に記載した代表者名を記入してください。

※2　企業の方の場合は、企業名および部署名を記入してください。
※3　Wisteria-O, Wisteria-A, Oakbridge-CX, Oakforest-PACSを利用した場合のみ、いずれかに○をつけてください。

※4 グループコース（企業利用）については、本報告書の内容は原則公開され、センター広報・Web ページに公開されます。ただし、利用者の申出により最大で2年間公開を延期することができます。

* 本報告書は、利用期間終了後1ヶ月以内に東京大学 情報システム部 情報戦略課 研究支援チームまでご提出ください。
* 本様式の変更はできません。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受付日 | 　　年　　月　　日 | 受付印 |  |

**1．利用の概略（各項目数行）（明朝10.5pt，行間14pt以上）**

1）利用目的・内容

2）利用意義

3）スーパーコンピュータを利用する必要性

**2．成果の概要（明朝10.5pt，行間14pt以上）**

1）今後得られるであろう成果の見通し（最大1000字程度）

※ 内容を以下のうちから選択の上，計算機利用の観点から得られた知見を中心に記載してください。

（ １．計算科学， ２．コンピュータ・サイエンス， ３．プログラムチューニング， ４．その他 ）

2）社会・経済への波及効果の見通し（数行）

※企業利用（トライアル）の場合のみ記入

3）その他の成果（数行）

**利用アンケートにご協力ください（利用アンケートは公開いたしません）。**

**（各項目数行）（明朝10.5pt，行間14pt以上）**

1）今後のご利用希望

1-1) 今後のご利用希望の有無（有・無）

1-2）理由

2）利用に関して有益であった事項

3）利用に関して生じた問題点

4）トライアルから通常利用に移行する場合の問題点

5）情報基盤センターのユーザーサポートに必要なこと

6）利用に係る感想・改善を希望すること

7）本利用で得られた成果や公表予定の成果があれば，以降に記述をお願いします。